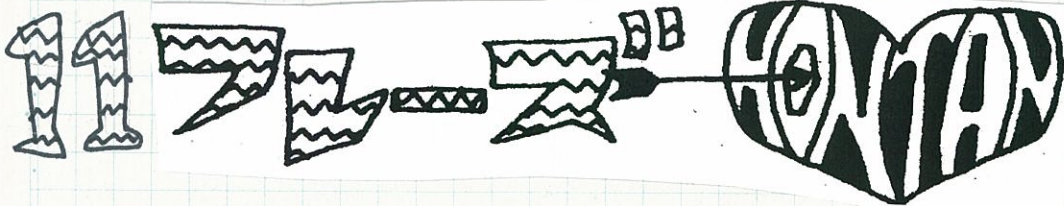


HONMAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします☺

エフエフエフな情報が
いっぱい!!

2013年11月号
(第42号)



今回のフェーズのテーマ
「キザ〜」と思う
セリフ
ごあ!!

伊礼の
オヌヌ × 有川浩 913.6/A
『ストーリー・セラ』
「君を甘やかすのが、俺の人生の
目標と言っても過言じゃないね」
「どうだ、嬉しいか」
という言葉つき。

あんの
オヌヌ × 辻村深月 913.6/T
『渾りのくじけ』
「うん、また何回か
口説きには来る」
…って、もう口説いてますって!!

まいの
オヌヌ × 東川篤哉 913.6/H-3
『謎解きはデブのあと(3)』
「やあ、いほご到着かい
お嬢さん」
二枚目風の笑みを浮かべて一言。

鶏の
オヌヌ × 有川浩 913.6/A
『クジラの夜』
「百鬼子がイキっててくんなきゃ。
嫌だ」
なんたかんだて、相思相愛

かたの
オヌヌ × 柳田司 913.6/Y
『ジョーカー・ゲーム』
「何かにとらわれて生きることは容易だ
だが、それは自分自身であることを
放棄することだ」
学生に向かって放った、中作の筆名のお言葉

ハルの
オヌヌ × 浅田次郎 913.6/A-2
『一刀斎夢録(下)』
「死あるは易く、生るは難い。
殺あるは易く、生かあるは難い」
自の命を奪った男の言葉

七木の
オヌヌ × 有栖川有栖 913.6/A
『赤い月、廃駅の上』
「男の子よ、幸運を祈る」
異国を旅している主人公に、大きな猛禽を
探さないかと言った後の言葉

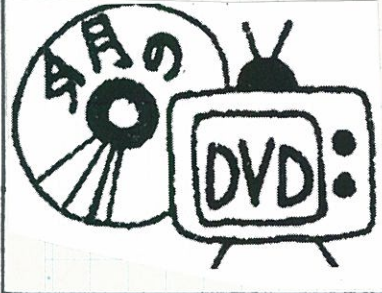
びわこの
オヌヌ × 『かや。クリスティー 938/C-24
『オリエント急行殺人事件』
「灰色の脳細胞を
使わなかったようだ」
名探偵ポワロの沢め台詞

舞の
オヌヌ × 村上春樹 913.6/M-2
『海辺のカフカ』
「風の音を聞くんだ」
生きるということを一語で表す。

カンの
オヌヌ × 山田悠介 913.6/Y
『パズル』
「アヒトは僕は、
どうしても勝ちにこだわった」
教師の優曇に笑った生徒が口にした台詞

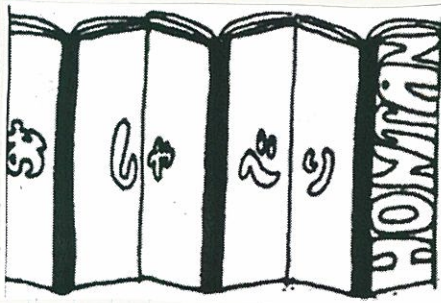
きょうの
オヌヌ × コナンドイル 933/D-3
『鮮色の石研究』
「鬼いちがいなどお余地はない」
僕の言フニニニ、不思議はちっともなハルだ!

あははのお気に入りセリフは
ありましたか?
比較的、長文なセリフが多く…。
キザな人はよく言える人なのかも?
☺



『十トXア-ビフオ- ア クリスマス』 778.72/N

ハロウィンが終われば、もうすぐクリスマス。人をおどろかせることが大好きな
ハロウィンタウンの住人にちが、クリスマスを楽しんだ!? カボチの王様・ジョックが
作り出す悲鳴に包まれたクリスマスの結末は?
ストーリー的にも、大変満足できる作品ですが、個性豊かなキャラクターに、
注目して見るのも楽しい見方です。至るところで登場する、音楽隊のギター(?)の
中には、羊首が入っていたり、市長の蝶ネクタイ(イモだった)、頭に傘が刺さっているキャラクターもいます。キャラクター
以外のセリフも、とてもおもしろく、何度も見ても新しい発見ができる作品です。この機会にじっくりと観賞してみてください
いかがでしょうか。あははにぴの推しキャラクターを採っててください!
<ヌ-モ>



今回のおしゃべりHONTANは、
「最近買った本 or 読んだ本？」

というテーマで、おしゃべりしてもらいます！

隆 私か最近買って読んだ本は、小竹正人さんの『空に住む』です。主人公の両親は、突然死んでしまいます。そして、愛猫と共に高層マンションに住み始めますが、その愛猫も死んでしまいます。そんな主人公が、同団体の人の優しさに助けられていとお話です。

あん 私が最近買った本は、辻内智貴さんの『セイジ』です。ただ単に、西島秀俊さんが表紙なので、買いました。地下鉄に乗る時など、物動中に読む用の本にしているの、なかなかすすめません…。

家はそんなに多くないし、わかりやすいお話なので、さうと、読みたいときに、読むのがオススメです。映画化もしています。西島さんでます。

傘

最近、普通の本より、教科書を読む方が多くて、大変になってきています。学生だから、仕方がないですが…(笑)

せっかく教科書を読んでいるので、とてもまじめなことを書きますと、北海道と平知について書かれている『アイモシリと平知』という教科書は、北海道のことをよく知ることができ、平知、

というものを考える際に、軽妙なエッセンスが書かれていると思います。

フェア 私が最近買った本は、コナン・ドイルの、『シャーロック・ホームズ』シリーズです。このシリーズは、『鮮色の研究』『四つの署名』『ビスカヴィル家の犬』『恐ろしの谷』の長編4つ、短編集6つの計10冊、11冊ずつ読み進めています。

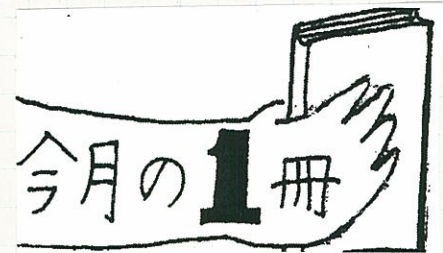
誰もが知っている、『シャーロック・ホームズの華麗な推理』ですが、その推理には、ほとんど人が、ついていくことができていません。そんなところを見て、『シャーロック』は一言、「その頭は飾りがある」とも、大いに活用するそのものみです。

『天使の印』 村上由佳 913.6/M

美大志望の予備校生、一本橋歩太は、自分の進路について、悩んでいた。そんな春先の日、歩太は、電車で出会った女性・王堂春姫に心を奪われる。その後、父親の入院している病院で春姫と再会し、彼女が、父の主治医の精神科医であることを知る。現在、春龍夏姫という恋人がいたが、自分より8歳年上の春姫に惹かれていく歩太。後に、春姫が夏姫の実の姉であることを知るも、春姫への想いは、次第に強くなっていく。

主人公は、私たちと年が近いこともあり、感情移入しやすいと思います。みなさんにも、将来のこと、家族のこと、様々な悩みがあると思います。しかし、人との出会いで、何かが変わるかもしれません。好き嫌いだけでいいし、友達も、自分の中にあるものを愛してくれるかもしれません。主人公の彼女になる春姫と、彼女だった夏姫が姉妹というのは、シブい設定ですね。けれど、ドロドロした関係のままでなく、認めることができています。人を否定するのは簡単ですが、認めるのは難しいですね。ですが、相手を敵だと思わなければ、そう思うように、この小説を読んで、感じてもらえると思います。

恋愛小説ですが、ただの恋愛小説では終わらなく、苦手を方でも読ませたいと思います。この機会に読んでみませんか。



<カイン>



空間に、あらゆる時代、ジャンル、国籍の美術品が、一堂に介する画期的な常設展示室「タイム・ギャラリー(時のギャラリー)」を、天井が自然光で調節できる明るい空間に、作品同士が対話するような空気を目指したそう。美術品の配置にもこだわっており、紀元前3500年前からの時間軸に沿って、美術史を辿ることができます。美術館だけでなく、周辺のカフェやお店なども書かれていますので、フランスの町が好きならにもオススメです。

<七未>

Casa BRUTUS 11月号

創刊15周年記念ということで、特集は、『いばけバキ美術館』エピソードです。日本人の手によって完成したルーヴル美術館の分館について載っています。設計者は、イタリアの天才大

HONTAN 展示で見つけて

今回の帯展示のテーマは、「秋色」の帯です。とにかく、綺麗な色の帯を揃えてみました。紅葉のような赤。銀杏のような黄。枯木葉のような茶。赤い羽のよう。秋は綺麗な風景を堪能したいから、のんびり読書がオススメです。

帯展示

学生展示

今回の学生展示は、「スタジオジブリ関連本特集」。スタジオジブリが書籍に与えた影響は、とても大きい。この機会に、映像からではなく、本から、ジブリを読みませんか？